



【最近のこれはまずいぞ！】『アントキノイノチ』

中身とまったく関係ないのですが、この題名を見るとアントニオ猪木を思い出してしまうのです。(C)A

「われに撃つ用意あり」

新宿・歌舞伎町。まだ、人が住んでいた頃。スナックを経営する郷田は、20年間続いたこの店の閉店パーティの準備に余念がなかった。彼は元全共闘の学生で、パーティには全共闘仲間が集うはずだ。政治家になつた者・大学の教授になつた者などそれぞれ道を進んでいたが、郷田はなぜか社会に迎合する生活はしなかつた。パーティが始まろうとした頃。突然、店に若い娘が店に逃げ込んでくる。女の名前はメイラン。偽造パスポートで日本にやってきました密国入者で、ある事件を起こしヤクザに追われる身だった。郷田はメイランを匿うが、ヤクザの抗争に巻き込まれていった彼女はヤクザに連れ去られてしまふ...

桃井かおり。その他に石橋蓮司・西岡徳馬・斉藤洋介・山口美也子。それぞれの成れの果てぶりが様になっていきます。事が起つてから逃げ出すアナター(笑)、つい誰ぞを思い出してしまいました。映画は学生運動での闘志が蘇り正義に走る男を描き、日本人にある義憤にかられて動く「純真さ」が描かれていて、今の日本人達がなんとかやつているのもそれがあるからではないかと思う。しかし、若い頃《義憤》にかられて活動していたハズなのに首相になつてもその《義憤》を一度もみせず、四列目の男といふ名を彷彿とさせる行動をみることに見せてくられてた人がいたが、当時の運動に参加した人達は彼の行動をどう思ったのだろうか？



Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema

コラム 体の健康と心の健康

日本人が健康に気をつかい始めたのはいつからなのだろうか？

調べてみると、高度成長期に入り日本人に余裕ができて始めてからのようだ。太平洋戦争が終わってからは、健康など気をつかう日々もなく、生きる事が精一杯だった。高度成長の時代が到来し、やつと日本人は健康に気づき始めるようになった。健康器具・健康食品・スポーツジム... 現在でもたくさんあり、健康アイテムがあり日本の経済を支えてもいる。しかし、日本人の心の荒廃が、言われてから久しいのも確かだ。

子供を産んでおきながら面倒をみる事を拒否し死に至らしめたり、先生でありながら、子供のわいせつ写真を集めたり、と枚挙にいとまがない。もちろん、子供を産んでも自分は面倒を人に任せ、気が向いた時にかわいがるのが一番いいのにきまつている。

しかし、彼らは《母親》で子供を育てる責任があり、《先生》として生徒を指導する責任があるのだ。

昔にも、子供の面倒を見ない母親もいた。また、ストレスのある教師もいただろう。でも、今のこの責任放棄をする人達の多さはなんなんだろう...

高度成長のを続ける為日本人は何かを棄てなければならなかつたかもしれない。確かに、体の健康は金で買える健康アイテムで補えたかもしれない。しかし、心の健康は、なぜだか補えなかつたような気がする。

嫌な事件を聞く度に、もう間に合わないのか？と自問自答してしまう今日この頃なのだ。



サプリメントでは心は補えない。

※編集後記※

☆ スーパーコンピュータの「京」が完成し、今後は、様々な分野で利用する事になっているが、先日行われた「事業仕分け」では、《素粒子同士を衝突させて何が生まれるかを知ろうとする研究→金にならぬ研究》と《自動車衝突させる研究→金になる研究》を一緒にする事にご立腹のようだ。こままだと「京」の開発費に匹敵するような利益を得られていないし、もう一つ、研究使用のしかたが不透明という事もあるらしい。人類の長い歴史の中で、《無駄》な研究だと思われていた事が突然脚光を浴びる事が多々ある。《素粒子》の研究が突然必要になり、「京」の研究結果が即座に役に立つこともあると思う。《素粒子》の事もわからない議員に「役に立たない」と一蹴りされるものなにかもつたいないような気がするが、どうでしょう。

☆ 4号は全体的に硬い話になってしまったように思います。次回からはもっと柔らかい話を入れたいと思っています。

☆ もう、気候はすっかり冬になってきたようです。ご体調に気をつけてください。

【最近のこれはお見事！】『孔子の教え』

中国で「アバター」が公開された時に、この内容はヤバイって事で急遽切り換えられたのがこの映画。『アバター』は中国では不埒な映画だったらしいが、中国で長年培った思想は不埒ではなかつたらしい。まあ、あたりまえか、退屈そうだけど(笑)でも、この題名だと、すくなくよい教えのような気がしますね。

シネマズライフーcinemaz-lifeー4号

<http://p.booklog.jp/book/36003>

著者：貴樹 諒音

著者紹介ブログ：<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/>

《NHK・BSプレミアム》[http://www.nhk.or.jp/bs/t\\_cinema/calendar.html](http://www.nhk.or.jp/bs/t_cinema/calendar.html)

《日本映画専門チャンネル》<http://www.nihon-eiga.com/>

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

よろしく申し上げます

**Yahoo!映画**

**rion\_takagiのMyムービー**

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&

**『カラフルタイムズ』**

新タイプの映画紹介とコラムです。

m(\_)\_m ダウンロードで鑑賞できます。 m(\_)\_m

[http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram\\_karafuru.html](http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram_karafuru.html)

**『オススメ犬映画』**

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬映画を紹介しています。

お世話になっています。

インターネットTV・[netchannel KYO](http://www.netchannel.kyo)

【写真素材-フォトライブラリー】

の画像を使わせてもらっています。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

